

どうだった 地域経済を回復させる対策

飲食店応援絆プロジェクト事業の結果

明るさ見えない市内飲食店

3月21日で「まん延防止等重点措置」は解除されましたが、飲食店への客足はなかなか戻ってきていません。夜の街も暗く寂しいものとなっています。

全く戻らず、『協力金』をもらっていたほうが」との声さえ聞かれます。

営業を守るため、いろいろな市の対策・支援が求められます。

袋井市飲食店応援事業とは

昨年実施された「袋井市飲食店応援事業」を、覚えておられますか。

下図は、「広報ふくろい」昨年5月号の掲載されたものです。

新型コロナで苦しむ市内飲食店を応援！
なじみのお店を選んで寄付して、
同額の“ふく呑みチケット”で飲もう・食べよう！

新型コロナウイルス感染症の影響で客足が減少している市内の酒類を提供する飲食店を応援するため、応援したい飲食店に市観光協会を通じて寄付をすると、お店で使える同額の「ふく呑みチケット」が寄付者に発行されます。

「ふく呑みチケット」が寄付者に発行される「飲食店応援事業」を実施します。

寄付は1口1,000円で、1人1店舗10口まで。寄付の溢れとしてもらえるチケットは、「飲食店応援事業」に登録している全てのお店で利用可能です。画さんからの寄付とチケットの料用が、お店の支援につながります。なじみのお店を守るため、ぜひご協力ください。

■寄付のしくみ

■申込方法
「袋井市飲食店応援事業」のホームページ、電話、窓口で

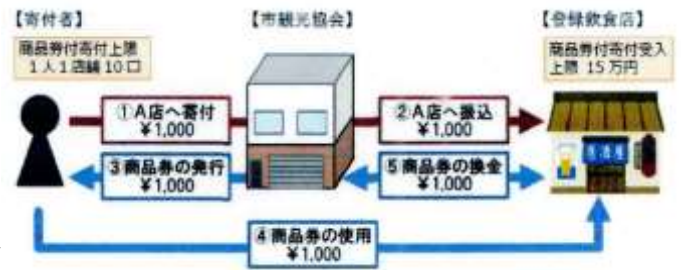
■寄付の申込期間
5月1日(土)～7月31日(土)

■商品券の使用期間
5月21日(金)～11月30日(火)

市観光協会 TEL43-1006 高度1211-1

新型コロナウイルス感染症の影響で、客足が大きく減少している酒類を提供する飲食店を、ファンとともに支援することを目的とした事業でした。

具体的なお金の流れは、次図のようになっていました。



寄付の受付期間は、5月1日から7月31日まで、「ふく呑みチケット」の利用期間は、5月21日から12月31日（緊急事態宣言の発令に伴い当初予定の11月30日を延長）まででした。

事業はどのような結果だったか

161店舗の登録がありました。

寄付総額は21,508,000円で、すべての登録店舗に寄付がありました。「ふく呑みチケット」付き寄付額は、20,829,000円でした。

上限の15万円に達した店舗は、125店舗(77.6%)でした。

また、「ふく呑みチケット」の利用状況は、151の店舗で利用され、換金額は20,193,000円で、換金率は96.9%でした。

登録店へのアンケート結果

市が実施した全登録店へのアンケートでは、「大いに貢献した」26.7%・「貢献した」46.7%の回答、おおむね4分の3の店舗が「売り上げに貢献した」との回答でした。

ただ、アンケートの回収率が27.9%と低かったことは残念です。

零細・中小業者をまもれ！

消費税減税！

インボイス制度導入中止を！

日本共産党